

卒業生の近況  
あれこれ。

芸工生の職種はあれこれ色々ありますが、今回はまちで直接、出会えるものをご紹介します。映画で笑って、空間や食事を味わって、芸工生の仕事に触れてください。



4期生  
今泉力哉さん

モト冬樹生誕60周年記念映画  
『こっぴどい猫』<http://koppidoi-neko.com>

自主制作映画『微温』『最低』が映画祭でグランプリを受賞し、2010年には『たまの映画』で商業デビューした4期生の映画監督・今泉力哉さん。7月28日から新宿のK's cinemaで劇場公開が始まった『こっぴどい猫』は、15人の男女と7つの三角関係が交差するという、彼お得意の(?)ダメ恋愛映画です。ゆるい空気感とリアルな描写の中で、タレント・モト冬樹さんを取り巻く群像劇が、悲しく可笑しく展開していきます。監督本人もなにげに出演してるもよう。きっとDVD化もされますが、映画は映画館で見るのがいちばん！ぜひ劇場まで足を運んでください。名古屋では9月22日からシネマスコレで上映の予定です。

公開劇場  
東京：K's cinema (7/28～8/31)  
札幌：蠍座 (9/18～10/1)  
名古屋：シネマスコレ (9/22～10/5)  
大阪：第七芸術劇場  
京都：京都みなみ会館  
兵庫：元町映画館



緋毬 (ひまり)  
名古屋市中区栄3-4-6  
サカエチカ内  
052-961-6082  
10:00～20:00、無休  
www.himari-jpn.com

1期生  
澤田剛秀さん  
3期生  
大山圭史さん

スタイリッシュな和甘味カフェ  
緋毬 名古屋・栄

賑やかなサカエチカで落ち着いた雰囲気のとカフェ。名古屋銘菓で有名な「大須ういろう」の新形態店で、1期生の澤田剛秀さんと3期生の大山圭史さんのデザインユニット studio point と芸工生がいろいろお世話になっている設計事務所 WORK・CUBE が全体のディレクションを担当されました。店舗の内装はもちろん、東京のフードコーディネーターやグラフィックデザイナーとともに、メニューや木製トレイなど小物までトータルに携わり、スタイリッシュなお店になっています。鏡を使った奥行きを感じさせる演出に、1期生で現在大学院で鈴木研究室に在籍する若手彫刻家・高野真悟さんが手がけた壁掛けのオブジェが、より空間に広がりを感じさせてくれます。そして雰囲気だけでなく、和と洋がミックスされた新感覚のスイーツもGood!! テイクアウト可能なおもちも色々あるので、ぜひチェックしてみてくださいね。

1期生  
高野真悟さん



写真中央の横長のオブジェが高野さん作

食とインテリアの複合ショップ  
ハチカフェ・ハチカグ 名古屋・瑞穂

1期生  
藪腰梨里さん

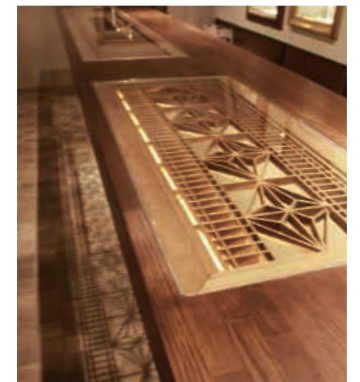
リノベーション専門の名古屋のデザイン事務所「エイトデザイン」が2011年10月にオープンしたカフェとインテリア雑貨の店。エイトデザインのスタッフ、1期生の藪腰梨里さんがWebサイトの運営からメニューの撮影、グラフィック全般を担当されています(芸工クロストーク geikou.jp のサイトで藪腰さんのインタビュー記事が見られます)。「食とインテリアを通じてちょっと無骨で楽しい暮らし」を提案、ということで、コンクリや鉄・木といった素材がガッツと主張する空間に、小さなダッチオーブンを使ったコロダッチ料理や自家製スモークなどのメニューのほか、パークカウンターまであって、男心を刺激しそうなものがいっぱい。キッズスペースやキッズメニューもあるので、お子さん連れもOKですし、ドルチェメニューも充実しているので、女性もうれしい♪ オリジナルのデザイン家具や、キッチン・ガーデングッズが並ぶ雑貨店もおススメです。



ハチカフェ・ハチカグ  
名古屋瑞穂区田辺通5-8  
名城線「瑞穂運動場東」駅3番出口すぐ  
052-838-6158  
11:00～23:00、火曜休  
ハチカフェ hachicafe.jp/  
ハチカグ hachikagu.jp/



上/コロダッチ料理 ¥680～  
左/緑っぱいのハチカグ内観



NewstalgicWineBar Coquettish  
新宿区新宿三丁目10-10 要会館5F  
東京メトロ新宿三丁目駅C4,C4  
出口より徒歩2分  
03-6380-0729  
18:00～02:00

左/カウンターの欄間が落とす幾何学模様の影がきれい  
下/グラスや店のモチーフのこけしが絵画のように飾られている



5期生  
一宮しのさん

アンビバレントな空間でワインと和食を愉しむ  
NewstalgicWineBar Coquettish 東京・新宿

様々なレストラン・バー・カフェなどが集まり、多くの人で賑わう新宿三丁目。その中の古いビルの5階にひっそりと佇むCoquettishは、和の家庭料理とそれに合うワインを気軽に楽しめるバー。5期生の一宮しのさんが神戸大学大学院建築学修了の友人と組んで内装設計を担当されました。こけしを置きたい、などのクライアントの要望を受け、コケティッシュ(可愛らしい・なまめかしい)×ノスタルジックというアンビバレントな(相反する)言葉を組み合わせ、どこかギャップのある個性的な空間を目指してきた店内は、モルタルやタイルなどの無機質な空間と、温かみのある欄間やアンティークの額縁・刀箆筒、点在するこけしたちがアンビバレントさを表現しています。料理は関西出身の店主による、薄味で出汁の効いた和食が中心で、ワインや日本酒もやさしくて飲みやすいものばかり。空間はもちろん、食もお酒もしっかり愉しめます。



8期生  
東野唯史さん

ワイワイ賑やかなプレオープニングパーティーの様子

本気で遊んで本気で作った、最高のホステル  
Nui HOSTEL & BAR LOUNGE 東京・蔵前

「あらゆる境界線を越えて、人々が集える場所を」がコンセプトの100人泊まれるホステル(簡易宿泊施設)&飲食店。8期生の東野唯史さんが内装デザインを担当し、デザインの方向性の擦り合わせから、パースや図面作成、大工さん達と詳細の打合わせ、造作物の図面制作のほか、現場での大工仕事や特殊塗装、アンティーク家具の選定、新規家具製作に照明計画などなど、ジャンル問わず全て手がけています。学園祭の様なノリで本気でビジネスとして作り上げるクライアント(株式会社バックパッカーズジャパン)と大工さん達には、ご自身もかなりいい刺激を受けているとか。卒業後、展示会や店舗の空間デザインを手がける会社に勤め、世界一周旅行を経て、東京でフリーのデザイナーとして独立された東野さんが、これまでの経験やセンス、遊び心を思い切り投入して作り上げる空間。魅力的なスタッフとも相まって、ステキな場になりそうです。



職人チーム、クライアントとの集合写真

Nui HOSTEL & BAR LOUNGE (9月上旬オープン予定)  
東京都台東区蔵前2-14-13(最寄駅:都営大江戸線 蔵前駅・都営浅草線 蔵前駅)  
料金 ホステル1泊2600円～(部屋種により異なる)  
バーのドリンクは1杯500円程度  
営業 ホステル24時間(チェックインは16～23時)  
バーは18時～24時頃の予定  
参考サイト 1店舗目 古民家ゲストハウス toco. <http://backpackersjapan.co.jp/>  
工事の様子 <http://backpackersjapan.co.jp/blog/>

学生からの思いがもうすぐカタチに!  
マルブチバーガー enjoy!house店 東京・恵比寿

10期生  
上瀧裕仁さん

学生のときに、ファストフード店とは一線を画す、インパクトのあるハンバーガーに出会いました。そこは外観から、家具や食器に至るまでアメリカを感じさせるカフェで、奥では店主が古いバイクの整備をしていたり、そういう雰囲気も含め、錆びたバットで頭を殴られたような衝撃を受けました。その後、自転車の世界にはまり自転車屋に就職しましたが、店主との考え方の違いで退社。そんなとき尊敬する先輩に、新しい世界にチャレンジするよう勧められ、東京で修行しハンバーガー屋になろう!と、決心しました。そして、自分の求める味に一番近い老舗店で働きながら、作り方を一から学び試行錯誤を繰り返していたある日、音楽イベントなどを開催させて頂いているカフェ&バーのオーナーから、開店前の時間帯に厨房を貸すのでハンバーガーを焼いて欲しいという話を頂き、店をオープンさせることに。現在、9月末から10月初旬の開店に向け準備を進めています。目指すのは、近所のパン屋や肉屋から食材を仕入れる、「その町」のハンバーガーです。将来はこれまでの経験を活かし、パンク修理などもやれる店をオープンさせ、修理の間にコーラでも飲んでもらいながら近所の人と雑談できたりしたら最高ですね。(上瀧さん談)



マルブチバーガー  
enjoy!house店  
(9月末～10月初旬OPEN予定!!)  
東京都渋谷区恵比寿西2-9-9  
代官山テクノビル2F